

四〇、左記合金ノ成分ヲ記セ

イ、真鍮 ロ、洋銀 ハ、アルミ ニ、青銅 ホ、活字金

四一、左記物質ノ成分(分子式)性質用途ヲ記セ

イ、雌黃 ロ、鹽酸加里、ニトログリセリン ニ、ベンゼン ホ、樟酸

四二、元素、單體及化合物ノ區別ヲ述ヘヨ

四三、硫化水素ノ製法性質及ヒ功用ヲ問フ

四四、硝子ノ種類成分性質用途ヲ記セ

四五、例ヲ舉ケテ電離ヲ説明セヨ

四六、化合分解、中和ヲ説明セヨ

四七、百瓦ノ大理石ヨリ幾瓦ノ無水炭酸ヲ得ルカ但シ炭素、酸素及ヒカルシウムノ原
子量ハ

炭素 一二、 酸素 一六、 カルシウム 四〇、 トス

四八、硫酸ノ製法性質及用途ヲ述ヘヨ

四九、動植物ノ生活作用ニ就テ知ル所ヲ述ヘヨ

五〇、左記物質ノ成分(分子式)性質用途ヲ述ヘヨ

イ、アセチレン ロ、石灰 ハ、セルローズ

五一、左記ノ物質ニツキ知ル所ヲ記セ

イ、蠟燭 ロ、黃血鹽 ハ、サルシス酸

◎ 博物科

○ 小學校本科正教員ノ部

(動物)

一、節足動物各門ノ主要ナル特徴ヲ列敘セヨ

二、ひどらノ體ノ構造ヲ説明セヨ

三、鳥類ト爬蟲類トノ類似及差異ノ點ヲ示セ

四、たにしヲ用キテ如何ナルコトヲ教授シ得ヘキカ(高等科第二學年)

五、哺乳類ハ其習性ニ從ヒ四肢ノ構造ニ差異アリ實例ヲ舉ケテ之ヲ説明セヨ

- 六、蚜蟲ノ習性及其敵蟲ヲ問フ
- 七、海綿珊瑚及ラニハ如何ナル動物ナルカ
- 八、昆蟲類及其各自ノ特徴ヲ述ヘ且ツ各自ニ就キ著シキ害蟲ト益蟲トヲ附記セヨ
- 九、動物ノ呼吸關機ヲ説明セヨ
- 一〇、自然淘汰トハ如何
- 一一、鳥類ハ空氣中ヲ飛翔スル爲ニ其體ノ構造ニ特點多シ如何
- 一二、農作物害蟲ノ中ニ就キ主要ナルモノ五種ヲ舉ケ其習性及驅除法ヲ説明セヨ
- 一三、動物ニツキ進化論ノ根據ヲ簡明ニ述ヘヨ
- 一四、蛇ノ大ナル動物ヲ嚙下シ得ルハ如何ナル爲カ
- 一五、魚ノ遊泳法ヲ説明セヨ
- 一六、體ノ構造上節足動物ト脊椎動物トノ異ナル點ヲ記セ
- 一七、左ノ動物所屬ノ綱目ヲ記セ
 - イ、おつとせい
 - ロ、ゐもり
 - ハ、ぢすとま
 - ニ、ごうりむし
 - ホ、じいがせ
 - ヘ、ふなむし
 - へ、しか
 - ト、かめのて
 - チ、まつつき
 - リ、うづら

- 一八、保護色擬態警戒色ノ著例ヲ記セ
- 一九、食肉類ノ形態上ノ特徴ヲ記セ
- 二〇、節足動物ノ呼吸作用ヲ記セ
- 二一、軟體動物各種ノ移動法ヲ記セ
- 二二、えびノ血液循環ヲ説明セヨ
- 二三、昆蟲ノ發聲器ヲ問フ
- 二四、固着動物三種以上ヲ舉ケ且其所屬ノ類目ヲ記セ
- 二五、鳥類ノ消化器官ヲ説明セヨ
- 二六、昆蟲類ヲ分類シ且ツ各類ニ所屬ノ動物三種ヲ附記セヨ
- 二七、はやノ體內ノ構造ヲ問フ
- 二八、さなだむしノ生涯ノ變遷ヲ記セ
- 二九、不用器官ノ例三個ヲ舉ケテ之ニ説明ヲ加ヘヨ
- 三〇、爬蟲類ト兩接類トノ異ナル點ヲ列記セヨ
- 三一、蝸牛ノ呼吸器官ヲ問フ

三二、食物ハ如何ニ動物ノ習性及構造ニ影響ヲ及ホスカ

(植物)

一、左記ノモノハ植物體ノ如何ナル部分ナルカ

イ、大麻ノ纖維 ロ、山吹ノ心 ハ、薔薇ノ刺 ニ、白米

二、かびノ生活及繁殖法ヲ問フ

三、梨ノ果實ノ部分ヲ舉ケテ其花ノ部分トノ關係ヲ説示セヨ

四、接木ノ理ヲ説明セヨ

五、双子葉植物ノ莖ト單子葉植物ノ莖トノ構造上ノ差異ヲ問フ

六、植物體中養液ノ運行スル原因及其通路ヲ問フ

七、わらびノ發生スル順序ヲ説明セヨ

八、根ノ構造ト其生理作用トヲ述ヘヨ

九、普通ノ有毒植物十種ヲ列舉シテ其形態ノ一斑ヲ記セ

一〇、實例ヲ舉ケテ左ノ諸語ヲ説明セヨ

イ、總苞 ロ、漿果 ハ、纏繞莖 ニ、接合生殖 ホ、腺毛

一一、纖維ヲ取ルヘキ植物三種ヲ舉ケ各其分類上ノ位置ト特徴トヲ示セ

一二、かびト黴菌(又びくteri)トノ例各一ヲ舉ケ其形態狀ノ差異及繁殖法ヲ述ヘヨ

一三、植物體中養液ノ運行ヲ説明セヨ

一四、じやがたらいもノ食用ニ供スル部分ハ植物體ノ何ノ部分ナルカヲ説明セヨ

一五、根ノ構造ヲ圖説セヨ

一六、池中ノ養液ハ如何ニシテ植物體ニ吸收セラレ且上部ノ枝葉ニ運ハルルカ

一七、圖ヲ以テ繖形花序密繖花序及莖荑花序ヲ示セ

一八、春季開花スル唇形科ニ屬スル植物二三ヲ舉ケヨ

一九、すぎなノ繁殖法ヲ記セ

二〇、蘭科植物ノ形態ヲ記セ

二一、植物ノ呼吸作用トハ如何且ツ之ヲ實驗スル方法ヲ問フ

二二、さのこニツキテ知レル所ヲ記セ

二三、馬鈴薯ノ塊莖中ノ澱粉ハ如何ニシテ生シタルカ

二四、羊齒植物ト顯花植物トノ繁殖法ヲ比較セヨ

- 二五、薔薇科ニ屬スル植物五種ヲ舉ケヨ
 - 二六、カンシヨリモ、ノ生殖法ヲ記セ
 - 二七、種子散布ノ状態ヲ問フ
 - 二八、イ、唇形科ニ屬スル植物ノ秋季開花スル者三種ヲ舉ケヨ
ロ、われもから、あきのきりんさう、まつねのまご、まつまらも、まつらも、ノ屬
スル科名ヲ記セ
 - 二九、せにひけノ生殖法ヲ記セ
 - 三〇、植物體中養液ノ通路ヲ問フ且之ヲ證據立ツル實驗法ヲ記セ
 - 三一、春季開花スル毒草五種ヲ舉ケヨ
 - 三二、圖ヲ以テ導管ノ所在ヲ示セ
 - 三三、同化作用ヲ實驗スル方法ヲ記セ
- (鑛物)
- 一、鑛脈ナルモノハ如何ニシテ成出スルカ
 - 二、土壤ノ種類及其成因ヲ問フ

- 三、鉛ト銀トハ如何ナル鑛物ヨリ採取スルカ
- 四、水晶ヲ用キテ如何ナルコトヲ教授シ得ヘキカ (高等科第四學年)
- 五、長石ノ性質成分及天然ノ所在ヲ問フ
- 六、粘板岩、石灰岩及砂岩ノ成因及識別法如何
- 七、銅及鐵ヲ採ルヘキ鑛物ノ名稱及其冶金法ヲ述ヘヨ
- 八、水成岩ノ種類及其識別法ヲ述ヘヨ
- 九、銅、銀、水銀、鉛、及錫カ自然ニ産出スル状態及其冶金法ヲ問フ
- 一〇、金剛石、螢石、及石英ノ成分性質及效用ヲ問フ
- 一一、左ノ鑛物ノ主ナル成分、性質及效用ヲ問フ
イ、石膏 ロ、磷灰石 ハ、黃玉 ニ、雲母 ホ、螢石
- 一二、鉛、亞鉛及銀ヲ採ルヘキ鑛物ノ主要ナルモノ各一ヲ舉ケ產地及冶金法ノ大要ヲ
附記スヘシ
- 一三、輝石、安山岩及凝灰岩ニツキ知ル所ヲ記セ
- 一四、太古界ヲ構成セル岩石ハ何々ナルカ

- 一五、水晶ト黄玉トノ識別法ヲ記セ
- 一六、等軸晶系ニ屬スル鑛物五種ヲ舉ケ其主成分ヲ記セ
- 一七、定積土壤トハ何ソ
- 一八、花崗岩及安山岩ノ組織ヲ記セ
- 一九、水晶片ト玻璃片トハ如何ニシテ區別スルカ
- 二〇、劈開面トハ如何且其例二三ヲ舉クヘシ
- 二一、石灰洞ノ成因ヲ問フ
- 二二、銀、銅、亞鉛、鉛、錫ハ何々ノ鑛石ヨリ採ルカ
- 二三、假像トハ如何
- 二四、左ノ意義ヲ問フ
 - イ、假像
 - ロ、劈開
 - ハ、接觸變花
 - ニ、條痕
 - ホ、石基
- 二五、石英ノ成分及其種類ヲ舉ケヨ
- 二六、還元焰及酸化焰トハ如何
- 二七、鐘乳石ノ成因ヲ記セ

- 二八、斑晶トハ如何例ヲ舉ケテ其成因ヲ説明セヨ
- 二九、ロームトハ如何
- 三〇、霞石生成ノ原因ヲ問フ
- 三一、鑛物ト岩石ノ區別ヲ問フ
- 三二、示シタル實物五個ノ名稱及其用途ヲ問フ

(生理)

- 一、體温及筋力ノ由來ヲ問フ
- 二、音ノ傳ハル順序ニ從ヒ耳ノ各部ノ名稱ヲ詳ニ記セ
- 三、皮膚ノ作用及其ノ衛生上ノ注意ヲ問フ
- 四、腸ノ消化作用ヲ説明セヨ
- 五、血液ノ成分性質及作用ヲ問フ
- 六、左ノ場合ニ於ケル救急法ヲ問フ
 - イ、脱臼
 - ロ、火傷
 - ハ、異物嚥下
 - ニ、衄血
 - ホ、溺死
- 七、消化器及呼吸器ニ關スル傳染病ノ種類及其豫防消毒ノ方法ヲ問フ

- 八、皮膚ノ構造及生理作用ヲ問フ
- 九、食物中ノ滋養分カ血液中ニ入ル通路ヲ問フ
- 一〇、教室内ニ於テ注意スヘキ衛生上ノ要件及其原理如何
- 一一、胆汁及脾液ノ性質及作用ヲ詳述セヨ
- 一二、各五感器ノ神經末梢器ヲ説明セヨ
- 一三、呼吸作用ヲ説明セヨ
- 一四、肺ノ構造ヲ記セ
- 一五、腎臟ノ構造ヲ記セ
- 一六、淋巴トハ何ソ
- 一七、眼ノ調節作用ヲ説明セヨ
- 一八、血液ノ組成ヲ記セ
- 一九、呼吸運動ハ如何ニシテ起ルカ
- 二〇、近視眼ノ正視眼ト異ル状態ヲ記セ
- 二一、心臟ヨリ動脈ニ壓出セラレタル血液ハ何カ故ニ逆流セサルカ

- 二二、齒ノ構造及其養生法ヲ記セ
- 二三、體温發生ノ原因ヲ問フ
- 二四、上肢及下肢ヲ構成スル骨ノ種類員數ヲ問フ
- 二五、血液ノ效用ヲ問フ
- 二六、會厭軟骨ノ位置及作用ヲ記セ
- 二七、齒ノ構造及衛生法ヲ問フ
- 二八、膽汁ノ作用ヲ記セ
- 二九、耳ノ構造ヲ圖解セヨ

◎理科

○尋常小學校本科正教員ノ部

(物理化學)

- 一、寒暖ノ感覺ハ如何ニシテ生スルカ例ヲ舉ゲテ説明セヨ

理科 尋常小學校本科正教員ノ部

- 二、空氣ノ成分如何
- 三、呼吸ニ於テ呼氣ト吸氣ト如何ナル差異アルカ
- 四、音ハ何ニヨリテ起ルカ
- 五、大氣ノ壓力ハ如何ニシテ之ヲ測定シ得ルカ
- 六、比重ノ定義ヲ舉ケ且ツ固體ノ比重ヲ知ルノ方法ヲ示セ
- 七、檢濕計ノ構造及效用ニ就キテ詳説セヨ
- 八、醱酵及腐敗ノ兩作用ヲ説明セヨ
- 九、硫酸ノ製法ヲ問フ
- 一〇、毛管現象ニツキテ知レル所ヲ述フヘシ
- 一一、通常ノ電燈ヲ説明スヘシ
- 一二、空氣ノ成分ヲ列舉シ且ツ空氣中ノ窒素ト酸素トハ容積ニ於テ四ト一トノ割合ナルコトヲ知リ得ヘキ實驗ヲ示スヘシ
- 一三、酸、鹽基、鹽トハ如何ナルモノヲ云フカ又各類ニ屬スル物質夫々二三ヲ舉ケ

- 一四、水壓ヲ説明シ大艦ノ海上ニ浮ヒウル理ニ説キ及ホスヘシ
- 一五、凸れんずノ作用ヲ説ケ
- 一六、單體ト原素トノ區別ヲ述ヘ左ノ藥品ヲ成文ニ記セ
イ、食鹽 ロ、苛性ソーダ ハ、硫酸 ニ、鐵ノ鏽 ホ、綠礬 ヘ、石灰石
- 一七、電氣分解トハ如何ナル現象ナルカ
- 一八、物ニ觸ルルトキ寒暖ノ感覺ニ種々ノ差違アル理ヲ述フヘシ
- 一九、電氣磁石ヲ説明シ其應用ニヨリ成レル機械ニ説キ及ホスヘシ
- 二〇、炭酸瓦斯ニ就キテ知ル所ヲ記セ
- 二一、左ノ物質ノ各ニ鹽酸ヲ注ケハ何ヲ生スヘキカ
イ、亞鉛 ロ、鐵 ハ、金 ニ、苛性ソーダ ホ、石灰石
- 二二、「空氣ニ壓力アルコト」ヲ尋常四學年ノ兒童ニ知ラシメントスルニ適當ナル實驗法三種ヲ記セ
- 二三、水素ノ製法及其性質ヲ記セ
- 二四、左ノ諸語ノ意義ヲ説明スヘシ

理科 尋常小學校本科正教員ノ部

- イ、比重
- ロ、露點
- ハ、凝集力
- ニ、化合及混合
- ホ、酸性及「あるかり」性
- 三五、空氣ノ成分及其含有物ヲ列記セヨ
- 二六、「ボムプ」ニテ水ヲ吸ヒ上ケ得ル理由ヲ説明セヨ
- 二七、石炭瓦斯ノ製法及其用途ヲ記セ
- 二八、火事場ニ於テ比較的風ノ強キ理由ヲ説明セヨ
- 二九、電氣磁石(電磁石)トハ如何且其應用ヲ記セ
- 三〇、二三ノ例ヲ舉ケテ酸性及あるかり性ト云フ語ヲ説明セヨ
- 三一、比重トハ何ソ併セテ比重ヲ測定スル方法一種ヲ記セ
- 三二、空氣ニ壓力アルコトヲ知リ得ヘキ實驗法二種ヲ舉ケヨ
- 三三、炭酸瓦斯ノ存在ヲ確ムル方法如何
- 三四、吸上ボムプノ構造及其作用ヲ説明セヨ
- 三五、例ヲ舉ケテ音ノ反射ヲ説明セヨ
- 三六、空氣中ニ存在スル炭酸瓦斯ハ如何ナル場合ニ生成セルモノナルカ併セテ換氣法ノ必要ナル理由ヲ述ヘヨ

(博物)

- 一、動物ノ擬態トハ何ソ
- 二、稻花ヲ圖解シ且其受精作用ヲ説明セヨ
- 三、火成岩ト水成岩トノ別如何
- 四、混食ノ利アル所以ヲ述ヘヨ
- 五、蟲媒植物ノ花ト風媒植物ノ花トハ如何ナル別アルカ
- 六、牛ノ消化器ヲ説明セヨ
- 七、腦髓ノ機能ヲ問フ
- 八、土壤ハ如何ニシテ生セシモノナルカ
- 九、ゑんどうヲ例トシテ種子ノ諸部分ヲ説明スヘシ
- 一〇、昆蟲ノ體ノ構造及其變態ヲ述ヘヨ
- 一一、人體神系ノ構造ヲ説ク
- 一二、例ヲ舉ケテ火成岩ト水成岩トノ區別ヲ述フヘシ
- 一三、蕁毒(なたねな)カ種子ヨリ發生シテ實ヲ結フニ至ルマテノ形態ノ變化ヲ記セ

- 一四、魚類ノ移動器ヲ説明スヘシ
- 一五、人體皮膚ノ作用ヲ説ケ
- 一六、土壤ニ就キテ知ル所ヲ述ヘヨ
- 一七、隨意筋ノ構造ヲ述ヘ且其著シキモノ五ツノ名ヲ舉ケテ其位置及作用ヲ附記セヨ
- 一八、種子ノ構造及發芽ノ狀ヲ述ヘヨ
- 一九、昆蟲ノ變態ヲ説明スヘシ
- 二〇、左ノ鑛物ニ就キテ知ル所ヲ記セ
 一、長石 二、石灰石 三、石油
- 二一、植物ノ同化作用ト呼吸作用トヲ比較シテ其差異ノ點ヲ舉ケヨ
- 二二、「わけはてふ」ノ變態ヲ詳述スヘシ
- 二三、花崗岩ニ就キテ知レル所ヲ記セ
- 二四、風媒植物ト蟲媒植物トノ差異點ヲ舉ケ併セテ農作物中ニツキテ兩者ノ例五種ツツヲ記セ
- 二五、魚類ノ呼吸法及運動法ヲ説明セヨ

- 二六、人ノ消化作用ヲ簡單ニ説明セヨ
- 二七、「たんばば」ノ花ノ構造ヲ説明セヨ
- 二八、動物ノ保護色トハ何ソ成ヘク多クノ例ヲ舉ケテ之ヲ説明スヘシ
- 二九、吾人ノ發聲器ヲ記シ併セテ音聲ニ大小高低ノ差異ヲ生スル所以ヲ説明セヨ
- 三〇、植物ノ根ト葉トノ生理作用ヲ説明セヨ
- 三一、昆蟲類ト蜘蛛類トノ差異點ヲ舉ケヨ
- 三二、人體内ニ於ケル血液循環ノ順路ヲ記セ
- 三三、十字花植物ノ花ノ構造ヲ記セ
- 三四、昆蟲ノ人生ニ對スル利害ニ就テ述ヘヨ
- 三五、消化器ノ衛生上注意スヘキ要項ヲ記セ

○小學校准教員ノ部

(物理化學)

一、鹽素酸素ノ性質如何

理科 小學校准教員ノ部

- 二、水素ヲ製スル時注意スヘキ點ヲ舉ケヨ
- 三、水ヲ盛リタル瓶ノ底ヲ熱スル時ハ水ハ如何ナル運動ヲ起スカ
- 四、合金トハ如何例ヲ舉ケテ之ヲ説ケ
- 五、磁石ノ南北ヲ指ス理如何
- 六、木鉄カ第一種ノ槓杆ニ相當スル所以ヲ説明セヨ
- 七、反響ノ生スル理如何
- 八、燃燒ノ意義ヲ問フ
- 九、硬水及柔水トハ何ソ
- 一〇、水カ自然界ヲ循環スル有様ヲ説ケ
- 一一、闇體カ種々ノ色ヲ呈スルハ如何ナル性質ニ基クカ
- 一二、鹽素ノ製法及性質如何
- 一三、酸素瓦斯ヲ製シテ其種々ノ性質ヲ實驗スルニ當リテ必要ナル藥品及器具ヲ列舉セヨ
- 一四、大氣ニ下壓力アルコトヲ實驗上ニテ説明セヨ

- 一五、酸、鹽、あるかり、ノ特徴ヲ示セ
- 一六、比重トハ如何之ヲ測ル簡易ナル方法ヲ説明セヨ
- 一七、挺子ヲ説明シ其ノ理ニ據リテ作りタル器具ヲ列舉セヨ
- 一八、平面鏡ニ物像ノ映スル理ヲ説クヘシ
- 一九、物理的變化ト化學的變化トノ區別ヲ示スヘシ
- 二〇、鹽酸瓦斯ノ製法及性質ヲ述ヘヨ
- 二一、虹ノ現ハルル理ハ如何
- 二二、炭酸瓦斯ニツキテ知ル所ヲ記セ
- 二三、電光ヲ見テ後五秒時ヲ經其雷鳴ヲ聞ケリ其間ノ距離ノ計算セヨ
- 二四、各自ノ知レル電池ニツキ其構造ヲ圖シテ説明セヨ
- 二五、如何ナルモノヲ酸類ト云フカ之ヲ略記セヨ
- 二六、磁石ノ南北ヲ指ス理由ヲ問フ
- 二七、酸素ノ所在及性質ヲ問フ
- 二八、音ノ高低強弱ニ就キテ知ル所ヲ述ヘヨ

二九、電信機ノ構造ヲ問フ
三〇、マツチノ製法ヲ問フ

(博物)

- 一、蝶ト蛾トノ別ヲ問フ
- 二、柿ノ種子ニ就キ説明セヨ
- 三、石炭ノ由來及種類ヲ問フ
- 四、體温ノ常ニ均シキ理由如何
- 五、果實ト種子トノ別如何
- 六、魚類カ巧ニ水中チ游泳シ得ル所以ヲ問フ
- 七、皮膚ノ機能及其衛生上ノ注意ヲ記セ
- 八、御影石ハ如何ナル鑛物ヨリ成レルカ
- 九、櫻ヲ例トシテ葉ノ諸部分ヲ記セ
- 一〇、牛ノ消化器ヲ説明スヘシ
- 一一、人體ニ於ケル血液ノ循環ヲ述フヘシ

- 一二、鐵鑛ニ就キテ知ル所ヲ述ヘヨ
- 一三、完全ナル花ノ構造ヲ示セ
- 一四、蝶蛾ノ區別ヲ示シテ作物ニ對スル關係ヲ説明セヨ
- 一五、眼球ノ構造作用ヨリ其衛生法ヲ説明セヨ
- 一六、桑ノ害虫ノ主ナルモノニツチヲ舉ケ且其習性ヲ述ヘヨ
- 一七、纖維科植物三ツチヲ舉ケ其用法ヲ併記セヨ
- 一八、硝子ノ製法及其原料如何
- 一九、血液ノ組成及作用ヲ説述スヘシ
- 二〇、蠶ノ變態ヲ説明セヨ
- 二一、櫻ノ葉ヲ取リテ其部分ヲ説明セヨ
- 二二、鐵ノ效用ヲ舉ケ併セテ製鐵ニ供スル重ナル鑛物ヲ舉ケヨ
- 二三、眼球ノ構造ヲ圖説セヨ
- 二四、植物ノ葉ニツキ説明セヨ
- 二五、水成岩火成岩ノ二種ニツキ説明セヨ

- 二六、魚類ノ呼吸作用ヲ略述セヨ
- 二七、花崗岩ニツキ知ル所ヲ述ヘヨ
- 二八、完全花ヲ説明シ併セテ完全ナル花五種ヲ舉ケヨ
- 二九、鳥類ノ體ノ構造カ飛翔ニ適スル點ヲ列舉セヨ
- 三〇、鐵ノ三種ニツキ知ル所ヲ記セ
- 三一、植物ノ根、莖及葉ノ生理作用ヲ問フ
- 三二、蝶類ト蛾類トヲ比較シ其異レル點ヲ列舉セヨ
- 三三、雙子葉植物ト單子葉植物トヲ比較セヨ

◎習字科

○小學校本科正教員ノ部

伏久者飛必高

右楷、行、草、三體ニ書スヘシ

○尋常小學校本科正教員ノ部

我堂德有隣

右楷、行、草、三體ニ書スヘシ

○小學校准教員ノ部

處約志不渝

右楷、行、二體ニ書スヘシ

○尋常小學校准教員ノ部

忠君愛國

右楷、行、二體ニ書スヘシ

習字科 小學校正准教員ノ部

◎體操科

○小學校本科正教員ノ部

- 一、矯正術中ノ上肢及上體ノ運動ヲ列記セヨ
- 二、運動ノ過不及カ身心ニ及ホス影響ヲ問フ
- 三、小學校ニ於テ兵式體操ヲ課スルノ理由ヲ問フ
- 四、停止及ヒ行進セル小隊ニ角度小ナル方向變換ヲナスヘシ
- 五、體操科ノ身體及精神ニ及ホス效用ヲ述ヘヨ
- 六、戰鬪隊形ニアリテ中隊ノ正面幅ハ何米突テ適度トスルカ (操典)
- 七、照準器ノ名稱ヲ舉ケヨ (射擊教範)
- 八、行軍隊形ノ必要ヲ述ヘヨ
- 九、速步行進ニアリテ一分時間ノ速度及歩幅ヲ記シ且ツ如上ノ規定ヲ嚴格ニ實行セシムルヲ必要トスル理由ヲ述ヘヨ (操典)

一〇、各個射撃ノ速度ハ(徐々、並ニ、急キ、連發)打方ノ區別アリ交戰間如何ナル時機ニ際シ其速度ヲ規定スルカ、又連發射撃ハ通常何米突以内ニテ行フモノナルカ

(操典)

- 一、體操及遊戯ノ各特別ノ目的ヲ記シ且尋常小學校初年級ニ體操ヲ課セサル理由ヲ述ヘヨ
- 二、集合及併合ヲ要スル時機及其號令ヲ問フ (步兵操典散開ノ部)
- 三、退却行進ニアリテ後衛ノ編成及部隊名稱ヲ記セ (野外要務令)
- 四、場中ニ散在セル生徒ヲ集メテ矯正術ヲ授クルマテニ要スル號令ヲ順序ニ記シ並ニ其號令ニ對スル生徒ノ動作ヲ説明セヨ
- 五、射撃軍紀トハ如何ナルコトヲ云フカ
- 六、左ノ兵語ヲ解釋セヨ
- イ、陽戰 ロ、戰鬪目標 ハ、持久戰 ニ、攻撃 ホ、迎撃
- 一七、直立姿勢ノ生理的價ヲ述ヘヨ
- 一八、斥候ノ目的及其働作ニ就キ詳説セヨ

體操科 小學校本科正教員ノ部

- 一九、前哨警戒部隊ノ名稱ヲ記セ
- 二〇、普通體操ヲ授クル迄ニ要スル號令及其生徒ノ動作ヲ説明セヨ
- 二一、歩兵ノ用フル速歩、駈歩、襲歩ノ各一步ノ幅及ヒ一分時ノ速度ヲ記セ
- 二二、三十年式歩兵銃ノ性能ニ就テ記セ
- 二三、前衛ノ任務ヲ説明セヨ
- 二四、美容術ノ目的及教授上注意スヘキ事項ヲ述ヘヨ

◎裁縫科

○小學校專科正教員ノ部

(理論)

- 一、今茲ニ並巾二丈八尺の裱地ありて男物袷羽織を製せんとす仕立上げ袖丈一尺四寸身の丈二尺六寸前下り一寸として縫合縫代を五分つとせは裏地幾人を要するか并に裁方を圖解せよ

- 二、大人通常褶高袴を製せんとす並巾小倉地二丈三尺三寸二分の布を用ゐるちときまたけを一尺五寸として裁切るとせは腰切及後丈は何尺に裁得るか并に袴の仕立上げ部分の名稱及其寸法を記せ
- 三、並幅一疋片面染の布を用ゐて十四五歳の女本身鈎袷裁單衣一枚男兒用筒袖單衣一枚女兒用三ッ身單衣一枚以上三枚を製せんとす各々用布幾尺つとを要するか其算式并に裁方を圖解せよ
- 四、並幅小倉地にて大人並褶高袴一具と中兒男袴一具とを裁たんとす各々用布幾尺にて裁得るか其總丈を記せ
- 五、紋織並幅二丈八尺四寸の内、織仕舞より六尺五寸を中にして耳に近き方に經二寸の燒穴ある布を以て本裁男物袷表を裁たんとす燒穴を何處へも出さざるやうに裁つへき圖解及裁切寸法を記せ
- 但し身丈裁切三尺八寸とすへし
- 六、片面物並幅二丈七尺八寸を以て三ッ身二枚を裁つへき圖解をせよ
- 但し裁切寸法隨意

- 七、中裁小供袴(紐下一尺四寸五分位)の出来上り寸法を記せ
- 八、二尺幅片面物一丈一尺を以て女羽織の裁ち方を圖解し各部の寸法を記入せよ
但し袖丈は一尺六寸六分なる可し
- 九、四丈一尺七寸五分の小倉地を以て後丈二尺四寸二分の十番馬乗袴を裁ちたる殘餘を以て十四五歳の男兒袴を裁たんとす裁ち方圖解積り方及寸法を記せ
- 一〇、幅一尺八寸五分の縮縮を以て大人ツボン下を裁つに丈二尺五寸五分となすときは總丈何程を要するか其裁方を圖解し積り方寸法を詳記すへし
- 一一、幅一尺二寸五分長サ二丈一尺五寸の絹紬を表地とし本裁女物袴羽織を裁つに縫上身丈二尺六寸及袖丈一尺五寸五分となすときは裏地何程を要するか表地及裏地の裁方を圖解し積り方及寸法を明記すへし
- 一二、並幅長サ二丈二尺の瓦斯小倉地を以て四布遣ひの袴を裁つに後丈を何寸となし得るか其裁方を圖解し積り方及寸法を記載すへし
- 一三、幅二尺長七尺五寸の布を以て小裁被布の裁方及裁切り寸法を記せ
但し裁方は圖解すへし

一四、並搔卷カイヤキの仕立上寸法と其綿の目方とを記せ

附 此搔卷の裏表を木綿とし綿を上綿とせばあらましの總價何程各品の見積りも合せて記せ

一五、幅一尺二寸長サ二丈四尺の片面物を以て本裁女物被布の裁方を圖解し寸法を明記せよ

一六、幅九寸五分、身丈三尺八寸袖丈一尺六寸五分、袴、棒裁の解きはなしあり之を以て四ツ身と一ツ身との筒袖を裁合すへし(但し圖解と説明とを要す繼合せは隨意なり)

一七、並幅二丈四尺の布を以て十番馬乗袴の裁方の圖解積り方の算式出来上り各部の寸法を明細に記せ

但し裄下は二尺二寸出来上り、腰切は一枚かけかへとして餘分を取るへし

一八、四ツ身の標つけ方を圖解し縫ひ方順序及出来上り各部の寸法を記せ
但し用布の長さは隨意なり

一九、袖丈一尺三寸身丈三尺九寸の着物表を以て十番馬乗袴の裁方を工夫せよ(但棒

衿

- 二〇、一反の布を以て小裁着物一枚及中裁羽織の裁合方を圖解し之に各部の名稱寸法を記すへし
- 二一、巾一尺七寸長サ一丈四尺の用布を以て大人物被布を裁縫せんには如何なる裁ち方になすか圖解をなし且つ之れに要する裏地を積るへし但し寸法女物並
- 二二、用布一丈を以て五六歳男兒襦なし袴の裁ち方を圖解し各部の寸法を記入すへし(教授法)
- 一、多數の生徒をして一定の時間に始めて單衣又は袴、綿入等のことき衣服の裁縫を教授するには如何なる順序にて授くるか其方法を記せ
- 二、裁縫科教授方法に一齊的教授と個人的教授との二様あり其得失利害を説き且つ小學校生徒に授くへき教材の範圍并に材料の選擇等を記せ
- 三、小學校に於て裁縫を課する目的を述へよ
- 四、今左に示す一ツ身襦袢の裁方積方を既に教授したりとして其應用問題を一題つづつくるへし

裁方 用布木綿並幅五尺

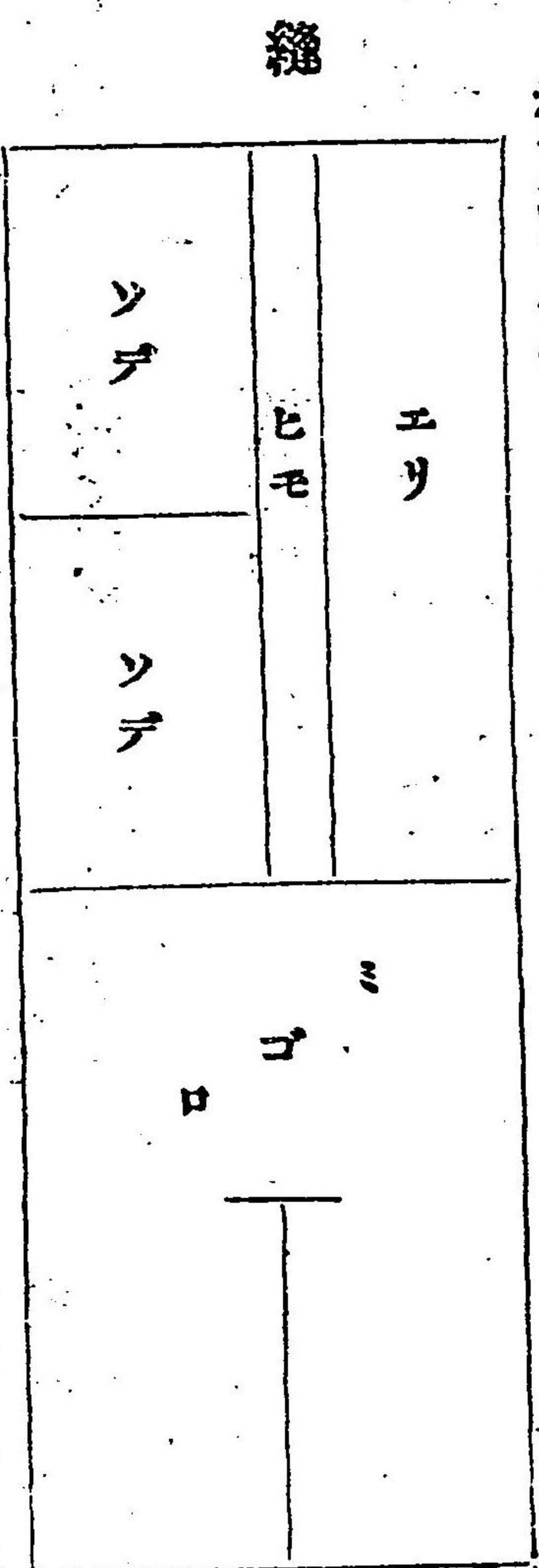
袖丈六寸五分

袖幅五寸

身丈一尺二寸

衿肩明八分

衿幅二寸三分



- 五、小學校の裁縫科教授に於て衛生上及徳育上注意すべき事項を述へよ
- 六、布一丈三尺を以て三ツ身單衣の積り方及裁ち方を教授せよ
- 七、裁縫科の教授につき技術上關にする目的を述へよ
- 八、十二脚の机を用ゐる四十人の生徒に本裁單衣女物の標の付方を同時に爲さしめんとするに其机の寸法形狀及生徒と机との配置を如何にすへきか

裁縫科 小學校専科正教員ノ部

- 九、裁縫教室内の清潔法及整理につき注意すべき點を詳細に記せ
- 一〇、女物綿入袖縫標附け方を教授する順序を詳細に記せ
- 一一、高等科一、二、學年裁縫科教授細目每週配當表を作るへし
- 一二、裁縫科に於て節約利用の習慣を得しむる方法及び針についての注意を記せ
- 一三、高等科三學年の生徒に補綴法を課せんとす其種類と教授の方法とを記せ
- 一四、高等小學校にて備ふべき裁縫科教授用器具の種類を挙げよ
- 一五、小學校に於て裁縫教授の際衛生上注意すべき要點を挙げよ

◎體操科

- 一、骨格ノ構造及ヒ效用ヲ述ヘヨ
- 二、體操及遊戲ノ兒童教育上ニ於ケル各特別ノ價值ヲ述ヘヨ
- 三、中隊縱隊ニアルトキ四列射撃ヲ行フ方法ヲ説明スヘシ(操典)
- 四、銃筒内ニアル腔線ノ理由ヲ述ヘヨ(射撃教範)

五、路次行軍ト戰鬪行軍トノ區別ヲ記セ(要務令)

六、交戰中躍進ヲ用フル時機ヲ記セ(操典)

七、四百米突以下ノ距離ニ於ケル彈丸ノ侵徹力ハ物質ニ應シ距離ノ遠近ニ因テ異ナル

モノトス左ノ物質ニアリテハ大約幾何ノ侵徹力ヲ有スルカ

(尋常積土) (砂) (松ノ乾燥セサルモノ) 厚サ六密理米突ノ鐵板及ヒ銅板ニアリテハ

何米突以内ニテ侵徹スルカ(射撃教範)

八、體操科教授上注意スヘキ諸件ヲ記セ

九、不正ナル氣ヲ着ケノ姿勢ノ身體ニ及ホス害ヲ述ヘヨ

一〇、散兵線増加法ニ二種アリ其方法ヲ述ヘヨ(操典)

一一、前哨警戒ニ任スル部隊ノ名稱ヲ記セ(野外要務令)

一二、運動ノ人身ニ與フル生理的價值ヲ述ヘヨ(普通應用)

一三、體操科教授中教師ハ常ニ嚴肅ナル威儀ト充盈ナル氣力ト活發ナル音聲トヲ保持

セサル可カラサル理由ヲ述ヘヨ

一四、前進行軍ニ在ル前衛ノ目的ヲ問フ(要務令)

- 一五、混用照尺ハ如何ナル時機ニ用ヒ如何ナル方法ニ實施スルカ
- 一六、整容法及呼吸運動ノ目的如何
- 一七、運動ノ身體ニ及ホス影響ヲ述ヘヨ
- 一八、三十年式銃(現今軍用銃)ノ侵徹力ヲ各物質ニ就テ詳説セヨ
- 一九、速歩、駈歩、襲歩、以上三種ノ歩法ニ就キ速度ノ區別ヲ記セ
- 二〇、敵前ニ在テ行軍中前方ノ警戒ニ任スル部隊ノ名稱ヲ記セ
- 二一、體操ヲシテ兒童ニ倦厭セシメサル様教授上注意スヘキ要件ヲ述ヘヨ
- 二二、體操及遊戲ノ生理的及道德的價值ヲ述ヘヨ
- 二三、歩兵速度ニテ一千米突ノ距離ヲ經過スルニ要スル時間ヲ問フ(歩兵操典)
- 二四、橫隊ニ在ル中隊ヲ整頓セシムル號令及ヒ其動作ヲ説明セヨ(歩兵操典)
- 二五、體操科教授ノ前後ニ於テ教師ノ注意スヘキ要項ヲ問フ(普通體操法)
- 二六、膝射ノ姿勢ニツキテ説明セヨ(射擊教範)
- 二七、兒童遊戲中誤テ創傷セシトキ教師ノ所置如何
- 二八、呼吸運動ノ目的ヲ述ヘヨ

- 二九、中隊縱隊ノ隊形ヨリ中隊ノ側面縱隊ヲ作ル運動ヲ説明セヨ
- 三〇、混用照尺ヲ用フルノ時機及ヒ應用スル距離如何
- 三一、後衛ノ任務ヲ説明セヨ

◎農業科

(理論)

- 一、中耕ノ利益ヲ問フ
- 二、過磷酸石灰ノ製法及之ヲ施スニ就キテノ注意如何
- 三、飼料ノ廉否ヲ知ル方法如何
- 四、分業ノ利害ヲ問フ
- 五、窒素磷酸加里ヲ肥料ノ三要素ト稱スル所以ヲ詳説セヨ
- 六、有機物ノ土壤中ニ於テ腐敗スル時起ル變化ヲ説明セヨ
- 七、地方ニヨリ農業ノ組織ニ異同アル理由ヲ述ヘヨ
- 八、左ノ各項ニ答ヘヨ

體操科 小學校專科正教員ノ部

(一) 滋養比ヲ算スル式

(二) 生葉一貫目ヨリ得ル製茶ノ量

(三) 蠶卵ノ催青ニ適スル温度及滋度

(四) 鶏卵ノ孵化ニ要スル日數

九、森林ト農業トノ關係如何

一〇、粘土ノ性質及之ヲ改良スル方法ヲ問フ

一一、新鮮ナル人尿ノ有害ナル理由ヲ述ヘヨ

一二、家畜飼養ノ主要ナル目的ヲ問フ

一三、耕地整理ノ利益ヲ舉ケヨ

一四、土壤ヲ分類シ各土壤ニツキ説明セヨ

一五、灌漑ノ必要ヲ説明シ其灌漑ノ方式ヲ説明セヨ

一六、稻收穫ノ適期ヲ示セ

一七、大麥栽培ノ行事ヲ記シテ之レニ要スル肥料量(過磷酸石灰堆肥人糞ノ三ツノモ
ノ、數量)ヲ舉ケヨ

一八、石灰肥料ノ利害ヲ説明セヨ

一九、硝化作用ニツキ説明セヨ

二〇、燒肥ノ利害ニツキ説述セヨ

二一、甘藍類ノ重ナル品種ヲ舉ケ其一ツニツキ栽培法ヲ示セ

二二、肉乳用ニ適スル重ナル牛各三ツヲ舉ケヨ

二三、微粒子ヲ検査スル法ヲ略述セヨ

二四、分業ノ得失ニツキ説明セヨ

二五、十三ベルセントノ磷酸ヲ含メル磷酸石灰ヲ以テ一反歩ノ一貫六百匁ノ磷酸ヲ施
サント欲ス磷酸石灰幾許量ヲ施シテ可ナルカ

二六、禾穀倒靡ノ原因ヲ問フ

二七、堆肥製法ニツキ注意ノ諸點ヲ條記(其下ニ簡明ニ理由ヲ附シ)並ニ其施肥量ヲ
示セ

二八、土壤ノ吸收力ニツキ説明セヨ

二九、西洋犁ヲ圖シテ其部分ノ名稱ヲ示セ

- 三〇、茄栽培法(苗床ノ作り方等ヨリ收穫マテ)ヲ記セ
- 三一、晚霜ノ作物ヲ害スル理由及其豫防法ヲ示セ
- 三二、麥作ノ行事ヲ詳細ニ述ヘヨ
- 三三、稻ノ病蟲害ニツキ説明セヨ
- 三四、蠶室ノ消毒法ヲ略述セヨ
- 三五、豚ノ飼養管理ニツキ説明セヨ
- 三六、燒畑式ニツキ説明セヨ
- 三七、肥沃ナル土壤ノ具備スヘキ要件ヲ條記セヨ
- 三八、稻ノ栽培法ヲ詳記セヨ
- 三九、大麻ノ栽培法及其製麻法ヲ述ヘヨ
- 四〇、蜜蜂ノ重ナル品種ヲ舉ゲ併セテ雌蜂ニツキ知ル處ヲ述ヘヨ
- 四一、左ノ作物ニ科名ヲ附セ
茄 楮 菜菔 煙草 茶 甘藷

(教授法)

- 一、小學校ノ農業科ニ於テ實習ヲ課スルノ目的及方法ヲ記セ
- 二、初等教育ニ於ケル農業教員トシテ備フヘキ要件如何
- 三、小學校ニ於テ教授上農業科ト他學科トノ連絡ヲ謀ル方法ヲ記セ
- 四、善良ナル種子ハ重大ナリ
右二時間ノ授業トシテ高等三學年ニ過セル農業科教授案ヲ作レ
- 五、輪作ニ關スルコト
右三時間ニテ教授スヘキ豫定ヲ以テ高等四學年ニ適スル教授案ヲ作レ
- 六、森林ノ效用
右二時間ニテ教授シ得ヘキ豫定ヲ以テ高等科三四學年ニ適セル教授案ヲ作レ
- 七、播種量ニツキ
右二時間ニテ教授シ得ヘキ豫定ヲ以テ高等三四學年ニ適スル教授案ヲ作レ
- 八、植方ノ深淺ニ關シテ
右高等科第三四學年ニ二時間ノ豫定ヲ以テ教授シ得ヘキ教授案ヲ作レ但シ三、四、學年ヲ同一程度ニテ教授スル場合ナリ

農業科 小學校專科正教員ノ部

◎手工科

- 一、手工教授ノ目的ヲ問フ
- 二、手工教材ヲ選擇シ之ヲ各學年ニ配當セヨ
- 三、手工教授上主要ナル設備及備品ニ詳述セヨ
- 四、板削方及平面検査法ヲ述ヘヨ
- 五、鑿附法ヲ問フ
- 六、手工科教授材料ヲ選擇列舉セヨ
- 七、止ノ指口
(實地)
- 八、櫻花ノ切貫細工

琦玉縣
小學校
教員試驗問題集 終

附 錄

○埼玉縣令第五十七號 (明治三十三年九月二十九日)

小學校教員檢定及免許狀ニ關スル細則左ノ通定ム

小學校教員檢定及免許狀ニ關スル細則

第一條 試驗檢定ハ毎年春秋二期ニ之ヲ施行シ其期日及場所ハ豫メ之ヲ告示ス但時宜ニ依リ某種ノ檢定ヲ缺クコトアルヘシ

第二條 師範學校ニ於ケル小學校教員講習科ヲ了ハリタル者及高等女學校ニ於ケル裁縫專修科ヲ了ハリタル者ニ就キテハ前條ノ期日ニ拘ハラズ修了ノ際檢定ヲ施行スルコトアルヘシ

第三條 檢定ヲ請フ者ハ檢定ノ種類及本科專科正教員准教員等ノ別ニ就キ其志望ヲ明記シ履歷書及戶籍抄本並小學校令施行規則第四百四條ニ關スル町村長ノ證明書ヲ添へ所轄郡役所ヲ經テ知事ニ願出ツヘシ但本縣ニ於テ授與シタル小學校教員免許狀ヲ有

スル者ハ戶籍抄本並小學校令施行規則第四百四條ニ關スル證明書ヲ要セス
師範學校ニ於ケル小學校教員講習科ヲ了ハリタル者及高等女學校補習科若クハ裁縫
專修科ヲ了ハリタル者ニ就キテハ前項ノ願書ヲ須キス當該學校長ノ申請ニ依リ檢定
スルモノトス

第四條 小學校令施行規則第百八條第一項第百九條第二項第百十一條第一項第百十二
條第二項ニ依リ一科目若クハ數科目ノ試験ヲ缺クハ本人ノ申出ニ依ルモノトス

第五條 小學校令施行規則第百十一條第一項但書ニ依リ數學ハ算術、歴史ハ日本歴史
トシ同條第二項ニ依リ女子ノ爲ニ裁縫ヲ加フ

第六條 試験檢定ヲ受クル者試験場内ニ在テハ檢定委員ノ命令ヲ遵守スヘシ其命令ニ
違背シ又ハ不正ノ行爲アリト認ムルトキハ委員ハ之ニ退場ヲ命シ試験ノ全部ヲ無効
トスルコトアルヘシ

受驗心得ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 檢定ヲ請フ者ハ手数料トシテ正教員ハ金參拾錢准教員ハ金貳拾錢ヲ納付スヘ
シ前項ノ手数料ハ第三條第二項ニ依リ檢定スル者ニ就キテハ之ヲ徵收セス

第八條 前條ノ手数料ハ之ヲ納付シタル後ニ於テ檢定ノ願下ヲナシ又ハ試験ニ應セザ
ルトキト雖モ還付セス

第九條 小學校令施行規則第百二十條第二項ノ手数料ハ金拾錢トス

第十條 町村長ハ小學校令第四十九條第一項ニ該當シタル者アルトキ及小學校ニ勤務
セサル者ニシテ同條第二項ニ該當スト認ムル者アルトキハ其氏名及事由ヲ知事ニ申
報スヘシ

○小學校令施行規則抄出 (明治三十三年八月文部省令第 號)

第百八條 小學校本科正教員ノ試験科目及其程度ハ男子ニ在リテハ師範學校男生徒、
女子ニ在リテハ師範學校女生徒ニ課スル學科程度ニ準ス但圖畫、音樂、手工、農業、
商業、英語ノ一科目若クハ數科目ハ之ヲ闕キ女子ノ爲ニハ尙體操ヲ闕クコトヲ得
本條ニ小學校本科正教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ本科正教員タルコ
トヲ得ヘキ者ヲ云フ

第百九條 小學校准教員ノ試験科目及其程度ハ左ノ如シ「手工、農業、商業ノ一科目

若クハ數科目ハ男子ニ限リ裁縫ハ女子ニ限ル

修身 道德ノ要旨

教育 教授法ノ大要

國語 普通文及小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字

算術 整數、分數及小數ノ加減乘除、比例、百分算

歴史 日本歴史ノ大要

地理 日本地理及外國地理ノ大要

理科 博物、物理化學ノ大要

圖畫 自在畫及簡易ナル幾何畫

唱歌 單音唱歌

體操 普通體操及兵式體操ノ初歩

裁縫 通常衣類ノ裁チ方、縫ヒ方、繕ヒ方

手工 手工ノ大要

農業 農業ノ大要

商業 商業ノ大要

圖畫 唱歌、手工、農業、商業ノ一科目若クハ數科目ハ之ヲ關キ女子ノ爲ニハ尙體

操ヲ關クコトヲ得

本條ニ小學校准教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ准教員タルコトヲ得ヘ

キ者ヲ謂フ

第一百十條 小學校專科正教員ノ試験科目ハ圖畫、音樂、體操、裁縫、手工、農業、商業、英語ノ一科目若クハ數科目トス其程度ハ師範學校生徒ニ課スル各科目程度ニ準

ス 前項ニ規定シタル科目ノ試験ハ受験科目ノ教授法ヲ附帶シテ之ヲ行フ小學校專科正

教員ノ試験ハ小學校教員檢定委員會ニ於テ修身、國語、算術ニ關シ普通ノ學力ヲ有

スト認メタル者ニアラサレハ之ヲ行ハス

本條ニ小學校專科正教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ專科正教員タルコ

トヲ得ヘキ者ヲ謂フ

第一百一條 尋常小學校本科正教員ノ試験科目及其程度ハ師範學校簡易科ノ學科程度

ニ準ス

六

但漢文、圖畫、音樂ノ一科目若クハ數科目ヲ闕キ數學ハ算術、歴史ハ日本歴史ニ限
ルコトヲ得又女子ノ爲ニハ尙體操ヲ闕クコトヲ得
女子ノ爲ニハ裁縫ヲ加フルコトヲ得其程度ハ通常ノ衣類ノ裁キ方、縫ヒ方、繕ヒ方、
トス

第一百十二條 尋常小學校准教員ノ試験科目及其程度ハ左ノ如シ
修身 道德ノ要旨

教育 教授法ノ大要

國語

小學校教科用讀本ノ講讀并ニ作文、習字

算術

整數、分數及小數ノ加減乗除、單比例

地理

日本歴史及日本地理ノ大要

理科

博物、物理、化學ノ初步

圖畫

簡易ナル自在畫

唱歌

單音唱歌

體操 普通體操

體操、圖畫、唱歌ノ一科目若クハ數科目ハ之ヲ闕キ女子ノ爲ニハ尙體操ヲ闕クヲ得

(參照)

師範學校ノ學科及其程度 (明治二十五年七月十一日
文部省令第八號)

第一條 師範學校ノ男生徒ニ課スヘキ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歴史、地

理、數學、物理化學、博物、習字、圖畫、音樂、體操トス

土地ノ情況ニ依リ外國語、農業、商業、手工ノ中一科目若クハ數科目ヲ加フヘシ
其數科目ヲ加ヘタル場合ニ於テハ生徒ノ所長ニ依リ其中ニ就キ一科目ヲ課スルモ
ノトス

第二條 師範學校ノ女生徒ニ課スヘキ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歴史、地
理、數學、理科、家事、習字、圖畫、音樂、體操トス

師範學校簡易科規程 (明治二十五年七月十一日
文部省令第十五號)

第二條 簡易科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歴史、地理、數學、理科、習
字、圖畫、音樂、體操トス

附 法 令

七

○埼玉縣告示第百十八號 (明治三十七年七月五日)

小學校教員試驗檢定參考用圖書

小學校本科正教員

修身科

男子ノ部

書名	卷冊	發行年月日	著者	發行者
新編倫理教科書	自一四冊至四冊	明治三十二年五月二十六日訂正再版	井上哲次郎	東京市日本橋區本町三丁目七番地 金港堂書籍株式會社
勅語衍義	全一冊	同三十六年二月十日	井上哲次郎	東京市神田區區廳神保町一番地 敬業社
論語	全四冊			

大日本帝國憲法義解	全一冊	明治三十四年十月二十五日	伊藤博文	前出 金港堂書籍株式會社
倫理學教科書	全一冊	同三十六年三月十八日	渡邊龍聖	東京市日本橋區區廳三丁目 河出靜一郎外一名

女子ノ部

聖諭教本 女子用	全一冊	明治三十四年八月十二日	湯原元一	前出 金港堂書籍株式會社
修身教科書	全四冊	同三十五年一月二十五日	井上圓了	東京市日本橋區區廳神保町一番地 合資會社 普及舍
女子作法書 <small>實習之部 心得之部</small>	全三冊	同三十一年九月二十九日	佐方菊野	東京市京橋區區南傳馬町二丁目 目黑甚七

教育科

教育的心理學	全一冊	明治三十四年六月十二日	高島平三郎	東京市本郷區區元町三丁目四十七番地 須永和三郎
新編教育學教科書	全一冊	同三十六年十月五日	大瀨甚太郎	前出 金港堂書籍株式會社
教育史教科書	全一冊	同三十六年三月二十六日	中島半次郎	同
小學校管理法	全一冊	同三十六年十二月十六日	和田豐	東京市神田區區表神保町二番地 同文館

附錄法令

小學教授法 全一冊 同三十四年八月二十五日 森岡 常藏 前出 金港堂書籍株式會社

倫理學教科書 全一冊 同三十三年十二月十八日 服部宇之吉 東京市神田表神保町九番地 合資會社 富山房

教育法令 國語科

國語科

訂中等國語讀本 自五至十六冊 明治三十五年二月七日 落合 直文 東京市神田區錦町二丁目 明治書院

師範國語典 上二冊 同三十六年十二月十五日 教育學術研究会 前出 文館

國文學小史 全一冊 同三十五年十一月五日 和田 萬吉 永井 一孝 東京市京橋區南傳馬町二丁目 吉川 半七

漢文科 男子ノ部

漢文教科書 自一至五冊 明治三十五年三月五日 秋山 四郎 前出 金港堂書籍株式會社

孟子 全四冊 女子ノ部

高等女子漢文讀本 全四冊 明治三十五年十一月十二日 簡野 道明 東京市日本橋區大傳馬町二丁目 三樹 一平

歷史科

本邦史綱 全一冊 明治三十五年七月十日 峰岸 米造 東京市日本橋區大傳馬町二丁目 六盟 館

東洋史教科書 全一冊 同三十七年一月五日 桑原 隲藏 東京市小石川區小日向水道町七十三番地 西野 虎吉

教科東洋歷史地圖 全一冊 同三十六年三月六日訂正改題 同 東京市日本橋區本石町二丁目 十二番地 杉本 七百丸

西洋略史 全一冊 同九年十月一日 箕作 元八 米造 同

西洋歷史附圖 全一冊 同九年九月十五日 同

地理科

附錄法令

師範地理學教科書 全一冊 明治三十七年 瀧本 鏡三 東京市京橋區尾張町新地 田沼書店

最新外國地理教科書 全三冊 同 年三月十五日版 中等教授法研究會 前 杉本七百九

中地文學教科書 全一冊 同 年三月十五日版 教育 前 佐藤 傳藏 前 六 出 盟 館

數學科

算術教科書 全二冊 明治二十年 藤澤利喜太郎 東京市京橋區銀座一丁目 大日本圖書株式會社

初等代數學教科書 全二冊 同 年三月十六日 同 同

初等幾何教科書(平面) 全一冊 同 年三月十五日 菊池 大麓 同

初等幾何學教科書(立體) 全一冊 同 年十二月十一日 同 同

商用簿記 全一冊 同 年三月十五日 秋山 行藏 東京市日本橋區通二丁目 嵩山房

物理化學科

中等物理學 全一冊 明治三十六年 後藤 牧太 前 大日本圖書株式會社

普通化學教科書 全一冊 同 年四月十日 根岸 福彌 前 出

博物科 全一冊 同 年十二月六日 龜高 德平 前 西野 虎吉

近動物學教科書 全一冊 明治三十六年 丘 淺次郎 大坂市東區北久寶寺町四丁目 三木 佐助

植物學教科書 全一冊 同 年三月二十六日 矢島喜源次 東京市日本橋區大傳馬町三丁目 內田 芳兵衛

新式鑛物學 全一冊 同 年三月二十四日 脇水鐵五郎 同

新編生理教科書 全一冊 同 年九月十三日 坪井 次郎 前 金港堂書籍株式會社

家事科

增訂家事教科書 全二冊 明治三十四年 後閑 菊野 前 出 黑 甚 七

附錄法令

家事教科
書概篇

家事簿記法

全一冊

明治三十三年
十月十日

後閑 菊野
佐方 鎮

前

目 黑 甚 七

裁縫教科書

上下二冊

同 三十五年
六月五日

谷田部 順

同

實驗裁縫教授書

上下二冊

同 三十六年
一月十五日

中村 菊子

東京市日本橋區通三丁目六番地
六 合 館

圖畫科

中等用器畫法

全三冊

明治三十一年
六月二十九日

井汲陸次郎

前

金港堂書籍株式會社

音樂科

祝祭日唱歌集

全一冊

同

文 部 省

前

博 出 文 館

小學唱歌集

全三冊

同

同

前

大日本圖書株式會社

近世樂典教科書

全一冊

明治三十四年
十一月五日

田村 虎藏

前

西 野 虎 吉

唱歌教科書

全四冊

同 三十五年
十二月十二日

共益商店
樂器店

東京市京橋區竹川町十三番地
共益商店 樂器店

體操科

步兵操典

全一冊

明治三十一年
二月五日

陸 軍 省

前

東京市京橋區元數寄屋町
河 村 隆 實

野外勤務實用

全一冊

同 二十八年
三月三十日

同

同

東京市京橋區南傳馬町一丁目
相 澤 富 藏

體操教範

全一冊

同 三十六年
十二月廿五日

同

同

同

射擊教範

全一冊

同 三十五年
四月二十五日

同

前

東京市京橋區大錦町八番地
小 島 棟 吉

普通體操法

全一冊

同 三十五年
八月十二日

坪井 玄道

前

大日本圖書株式會社

農業科

農業原論

全一冊

明治三十七年
二月十一日

橫井 時敬

東京市日本橋區馬喰町二丁目
鹿 島 長 次 郎

農業楷梯

全一冊

同 三十一年
三月十七日

稻垣 乙丙

前

博 出 文 館

小學校准教員

修身科

男子ノ部

教聖諭教本 全一冊

明治三十二年 湯原 元一

前 出 金港堂書籍株式會社

女子ノ部

聖諭教本女子用

全一冊

前

出

前

出

前

出

修身教科書

自一至三冊

同

同

同

女子普通作法書

全一冊

明治三十五年 十月五日

木内たつの 谷川とく

東京市日本橋區本石町三丁目二十三番地 金昌堂

教育科

最新小教育學

全一冊

明治三十六年 三月十九日

齋藤鹿三郎

東京市神田區樂町二十三番地 山海堂書店

國語科

中等國語讀本

自五至七冊

前

出

前

出

前

出

埼玉縣小學校教科用讀本

(試驗當時採用ノモノ)

算術科

算術小教科書

全二冊

明治三十一年 十二月二十日

藤澤利喜太郎

前 出 大日本圖書株式會社

歷史科

刪內國史綱

全一冊

明治三十六年 九月二十日

峰岸 米造

前 出 杉本七百九

地理科

地理學教科書日本之部

全一冊

明治三十七年 三月七日訂正版

田沼 書店

前 出 田沼書店

地理學教科書外國篇

全三冊

同 一月二十九日

志賀 重昂

前 出 富山房

理科

理科教科書

全二册

明治三十六年六月六日

佐藤禮介
根岸福彌

前六

出

盟

館

近世生理學教科書

全一册

同三月二日

丘淺次郎

前三

出木

佐

助

圖畫科

中等用器書法

上一册

前

出前

出

前

出

唱歌科

祝祭日唱歌集

全一册

前

出前

出

前

出

唱歌教科書

全四册

同

同

同

出

體操科

體操教範

全一册

前

出前

出

前

出

普通體操法

全一册

同

同

同

裁縫科

裁縫教科書

上一册

前

出前

出

前

出

實驗裁縫教授書

上下二册

同

同

同

小學校專科正教員

圖畫科

中等用器書法

全三册

前

出前

出

前

出

音樂科

祝祭日唱歌集

全一册

前

出前

出

前

出

近世樂典教科書

全一册

同

同

同

唱歌教科書

全四册

同

同

同

小學唱歌集

全三冊 同

同

同

體操科

步兵操典

全一冊 前

出前

出前

出

野外勤務實用

全一冊 同

同

同

體操教範

全一冊 同

同

同

射擊教範

全一冊 同

同

同

普通體操法

全一冊 同

同

同

裁縫科

裁縫教科書

上下二冊 前

出前

出前

出

實驗裁縫教授書

上下二冊 同

同同

同

農業科

農業原論

全一冊 前

出前

出前

出

農業楷梯

全一冊 同

同

同

尋常小學校本科正教員

修身科

男子ノ部

勅語衍義

全一冊 前

出前

出前

出

新編倫理教科書

自一
至四 四冊 同

同

同

論語

全四冊

女子ノ部

聖諭教本

女子用

全一冊 前

出前

出前

出

修身教科書

自一
至三 三冊 同

同

同

三

女子作法書

全二冊

同

同

同

三

教育科

實用教育學提綱

全一冊

明治二十六年七月十日

小山左文二

東京市京橋區弓町十二番地
松村孫吉

教育史教科書

全一冊

前

出前

出

前

出

教育法令

國語科

訂中等國語讀本

自五至八冊

前

出前

出

前

出

師範國語典

上下二冊

同

同

同

出

漢文教科書

一二冊

前

出前

出

前

出

歷史科

日本史教科書

上下二冊

明治二十六年三月
廿日訂正再版

藤岡作太郎

西野

虎

吉

地理科

地理學教科書

全一冊

明治二十七年二月
廿日訂正再版

志賀

重昂

前富

山

出房

地理學教科書

全三冊

前

出

前

出

前

出

數學科

算術教科書

全二冊

前

出

前

出

前

出

理科

理科教科書

全二冊

前

出

前

出

前

出

近世生理學教科書

全一冊

同

同

同

音樂科

近世樂典教科書

全一冊

前

出

前

出

前

出

附錄法令

三

祝祭日唱歌集

全一冊

前

出

前

出

前

出

唱歌教科書

全四冊

同

同

同

體操科

體操教範

全一冊

前

出

前

出

前

出

普通體操法

全一冊

同

同

同

裁縫科

裁縫教科書

上一冊

前

出

前

出

前

出

實驗裁縫教科書

上二冊

同

同

同

尋常小學校准教員

修身科

男子ノ部

育聖諭教本

全一冊

前

出

前

出

前

出

女子ノ部

聖諭教本

全一冊

前

出

前

出

前

出

女子普通作法書

全一冊

同

同

同

教育科

最新小教育學

全一冊

前

出

前

出

前

出

國語科

埼玉縣小學校教科用讀本

(試驗當時採用ノモノ)

算術科

算術小教科書

全二冊

前

出

前

出

前

出

附錄法令

歴史地理科

講習 日本歴史

全一冊

明治三十六年
四月二十日四版

田沼書店

神奈川県横浜市尾上町三丁目
二十七番地
田沼 太右衛門

訂改 帝國新地理

全一冊

同 二月二十二日

龜井 忠一

東京市神田區裏神保町
龜井 忠一

唱歌科

祝祭日唱歌集

全一冊

前

出

前

出

出

唱歌教科書

全四冊

同

同

同

體操科

普通體操科

全一冊

前

出

前

前

出

○埼玉縣告示第百六十七號

(明治三十三年十月二十三日)

小學校教員試驗檢定受験者心得左ノ通定ム

小學校教員試驗檢定受験者心得

第一條 受験者試驗場ニ在リテハ總テ檢定委員ノ命令ヲ恪守スヘシ

第二條 受験者ハ試驗ヲ受クヘキ日ノ前日試驗場ニ出頭シテ宿所氏名ヲ到着簿ニ記載

シ番號札ヲ受取ルヘシ

第三條 受験者ハ羽織袴又ハ洋服ヲ着用スヘシ

第四條 受験者入場間時ニ後レタル者ハ檢定委員ノ許可ヲ受クルニ非サレハ入場スル

コトヲ得ス

第五條 受験者ハ毛筆、鉛筆、小刀、硯、墨、裁縫用具及圖畫用具ノ外監督者ノ許可

ヲ受クルニ非サレハ携帶入場スルコトヲ得ス

第六條 試験中受験者ハ場外ニ出ツルヲ得ス若シ已ムヲ得サル事故アルトキハ檢定委

員ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 一旦答稿ヲ差出シタル後ハ誤謬等ヲ發見スルモ之ヲ改竄スルコトヲ得ス
第八條 答稿ハ一葉毎ニ用紙ノ首ニ學科目ヲ記シ其下ニ自己ノ番號及氏名ヲ記入スヘシ

第九條 配當ノ用紙ハ書損等ヲ爲シタル場合ニ於テモ引換ヲ許サス但不足ヲ生シタルトキハ更ニ請求スルコトヲ得

第十條 受験中ハ互ニ談話換席シ又ハ器具物品ヲ交換貸借スヘカラス

○檢定出願ニ關スル注意

- 一 檢定願書(第一號書式)ニハ明治三十三年九月二十九日埼玉縣令第五十七號小學校教員檢定及免許狀ニ關スル細則第三條ニ規定ノ通り檢定種別ヲ明記シ尙隨意科ニ屬スル學科試験ヲ缺クモノハ必ス其旨ヲ明記スルヲ要ス
- 一 履歷書(第二號書式)ニハ職業ノ部ハ任命辭令ノ要旨ノミヲ記サス俸給及退職ノ辭令ニ係ル事項モ詳細ニ記載スルヲ要ス
- 一 卒學證書免許狀講習修了證及有效證明書等ノ寫ハ省略ヲ加ヘス必ス其全部ヲ記載ス

ルヲ要ス

第一號書式 (用紙半紙)

檢定願

埼玉縣何郡何町 大字番地寄留
何府縣郡市町村 大字番地族稱

氏名

生年月日

埼玉縣知事何某殿

年月日 氏

名印

右私儀教員志願ニ付隨意科ニ屬スル

(准教員及專科教員檢定願書モ此例ニ依ル)

第二號書式 (用紙半紙)

履歷書

族籍

現任官職

氏名

生年月日

一學業

年月	合年	學科	程度又	學校又
自年月	至年月	ハ	ハ	ハ

一職業

年月日	辭令若ハ從事シタル業務ノ要領	官廳(學校)

一賞罰

年月日	辭令若ハ處分ノ要領	官廳(學校)

一其他ノ事項

此部ニハ學力ノ試驗ヲ受ケ又ハ試驗ヲ須キス卒業證書又ハ免許狀ヲ得タル事項年月日轉籍改氏名其他各部ニ記載スルヲ得サル事項ヲ記載スヘシ

參考

一本縣下外居住ノ者ハ直接出願スルコトヲ得(檢定手数料ハ爲換ニテ納付スルコトヲ得)

○檢定試驗各學科時間數ハ從來施行ノ試驗時間ニ就キ調査スルニ左表ノ如シ

學科目	修身		教育		國語			漢文	數學	
	理論	方法	讀法	文法	作文	習字	算術	代數		
小學校本科正教員(男)	二	二	二	二	二	一	二	三	一、五	
尋常小學校本科正教員	二	二	二	二	二	一	一	三	一	
小學校准教員	二	一	二	二	二	一	一	二	一	
尋常小學校准教員	二	一	二	二	二	一	一	二	一	
小學校專科正教員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

理 科	習 字	體操			裁縫		
		理論	普通	兵式	法教授	實地	理論
一	一	一	凡一	凡一	一	一	一
三	一	一	凡一	凡、三〇	一	三	一
三	一	一	凡一	凡、三〇	一	三	一
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	二	凡二	凡二	一	五	二

化學	物理	博物				地 理	歷 史	簿 記	幾 何
		生物	礦物	植物	動物				
二	二	一	一	一	一	二	二	一、五	一、五
一	一	一	一	一	一	二	二	一	一
一	一	一	一	一	一	二	二	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

手工			農業	
法教授	實地	理論	法教授	實地
一	四	一	一	凡一

三四

但教育科中理論ニハ心理、論理、教育史及教育原理ヲ含ミ方法ニハ教授法、管理法及教育法合テ含ム

○檢定試験各學科問題數ハ問題ノ種類性質ニ依リ一定セスト
 雖從來施行ノ試験問題數ニ就キ調査スルニ概ネ左表ノ如シ

學科目	修身	教育		國語			漢文	數學	
		理論	方法	讀方 文法	作文	習字	算術	代數	
正 <small>小學校本科</small> 教員	四	四	三	六	二		三	五	四
本 <small>尋常小學校</small> 科正教員	四	三	三	四	二			五	
小學校准教員	三		三	(讀方)三	二			五	
准 <small>尋常小學校</small> 教員	三		三	三	二			五	
正 <small>小學校專科</small> 教員									

附錄法令

三五

理 科	習 字	體操				裁縫		
		理論	普通	兵式	教授	理論	實地	教授
一	一	三	一	一	一	一	一	一
六	一	一	一	一	一	一	一	一
五	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	五	一	一	一	一	一	一

物理化學		博物				地 理	歷 史	簿 記	幾 何
化學	物理	生理	礦物	植物	動物				
五	五	三	三	三	三	五	五	二	三
一	一	一	一	一	一	五	五	一	一
一	一	一	一	一	一	五	五	一	一
一	一	一	一	一	一	五	五	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

明治三十八年八月二十日印刷
明治三十八年八月廿五日發行

定價金參拾錢



編纂者

長谷川正德

發行者

中村朝次郎

印刷者

大西鍊三郎

印刷所

三協合資會社

埼玉縣北足立郡浦和町百十四番地
東京市麹町區有樂町三丁目一番地
東京市京橋區弓町二十四番地

發行所

浦和町

文

華

堂

各社學雜誌校出版
 諸官衙用特教書籍
 諸青黑肉大文約書
 御筆製製造取具販
 墨類製製造取具販
 圖引機械造取具販
 諸流及繪畫用紙數
 風流繪畫用紙數
 諸簿用簿小切封筒
 諸帳記用簿小切封筒
 運動用具樂器類

弊店義明治十二年より當所に開
 店仕り机上一切の御用に應せん
 と心懸け居候處各位の御引立に
 より日進月歩繁榮を加へ候段奉
 鳴謝候今回一層品質相撰み非常
 の廉價を以て販賣仕候に付何卒
 多少共に御用命の程奉願候敬具

浦和町表門通り

文華堂

埼玉縣
小學校
教員檢定試驗問題集

附檢定規則抄録并受験者心得

長谷川 正徳 編

不許複製

補和

文華堂發兌

221

880

049857-000-1

特26-515

埼玉県小學校教員檢定試驗問題集

長谷川 正徳 / 編

M38

BEM-0592

